

千葉東葛間の新たな広域幹線 道路の整備に関する要望書

令和6年7月

千葉東葛間広域幹線道路
建設促進期成同盟会

千葉東葛間の新たな広域幹線道路の整備に関する要望書

広域幹線道路は、都市間相互を連絡し、生活や経済活動等あらゆる社会活動を支える重要な施設であり、地震などの災害発生時においても救援救護活動、緊急物資の輸送など重要な役割を担うものであります。

国道16号は、千葉市から東葛飾北部地域にかけての唯一の広域幹線道路であり、首都圏の環状道路として位置付けられています。

令和2年6月に国土交通省から公表された「直轄国道の交通状況ランキング（平成31・令和元年）」における路線別の渋滞ランキング〈年間合計〉では、直轄国道1号～20号の区間毎の渋滞損失時間等が集計されており、国道16号における千葉県千葉市（八千代市境～こてはし台入口交差点付近）及び千葉県柏市（呼塚交差点～大井交差点）が全国ワースト1位、2位を独占しております。

令和5年6月に同じく国土交通省から公表された「道路交通センサス」では、呼塚交差点～大井交差点の区間において、昼間12時間大型車混入率が3割を超えております。

また、国土交通省がETC2.0プローブデータを用いた国道16号での調査（令和3年10月）によると、千葉北西地域（野田市、柏市、我孫子市、白井市、印西市）に目的地を持たない外々交通（通過交通）の割合が約2～3割を占めています。

このことから、国道16号の慢性的な渋滞により、柏市から我孫子市にまたがる田中調節池内の市道等に車両が流入するなど、周辺道路の交通量が増大しているほか、特に道路利用のニーズが高まる朝夕においては、国道16号へ接続している市道等も渋滞をするなど、円滑な交通に支障をきたしている状態です。

併せて近年、東葛飾北部地域の救急件数は増加の一途をたどっており、現場到着時間においても延伸している状況です。災害発生時における国道16号及び周辺道路の交通渋滞により、救急医療活動等が機能不全になる恐れがあり、今後、代替路線の必要が増大していくことが見込まれます。

快適な生活空間の創造や活力ある地域づくりのためには、千葉市から東葛飾北

部地域にかけての国道16号の交通対策は緊急の課題であり、国土強靱化、地方創生を実現するためにも、地元市はもとより沿線住民も千葉東葛間の新たな広域幹線道路である千葉北西連絡道路の早期実現に強い期待を寄せております。

国土交通省様におかれましては、令和4年11月に「千葉北西連絡道路の道路計画の基本方針」を策定いただき、更なる計画の具体化に向け、千葉北西連絡道路の概略計画の検討（計画段階評価を含む）を進めることを目的とした「千葉北西連絡道路地元検討会」を令和6年2月に設立いただくなど、着実に事業検討を進めていただいておりますことに大変感謝申し上げます。

地元検討会においては、千葉北西連絡道路の沿線地域住民に対し、地域が抱える交通課題等を積極的に情報提供するとともに、様々な方法を通じて意見を把握することについて合意がなされたところであり、国道16号千葉東葛間の沿線市におきましても、千葉県と連携を図りながら、引き続き地域の機運醸成を図ってまいります。

千葉東葛間の新たな広域幹線道路が実現した際には、沿線住民の利便性・快適性が向上することはもとより、国道16号の輸送時間の短縮により企業活動が効率化します。また、成田空港とのアクセスが強化されることで千葉県北西部の観光の活性化が図られ、当該地区の社会資本が機能することでストック効果が見込まれます。このほか、交通渋滞が緩和されることで、迅速な救急医療活動へ寄与するとともに、交通事故の減少及び路線バスの定時性向上なども大いに期待されます。これらのストック効果がより一層発現できるよう、自動車専用道路を含め、千葉東葛間の新たな広域幹線道路をアクセスコントロールされた道路として整備していただくことも有効であると考えています。

つきましては、千葉東葛間の新たな広域幹線道路である千葉北西連絡道路の重要性を理解いただき、次の事項について特段の配慮をお願いいたします。

- 1 千葉北西連絡道路について、千葉県北西地域の交通の円滑化を図るとともに、当該地域のポテンシャルを十分に引き出すため、つくば野田線以北から、国道464号付近までにおいて、核都市広域幹線道路の機能を兼ね備えた、多車線の自動車専用道路として、計画の早期具体化を図ること。
- 1 千葉北西連絡道路の計画の具体化にあたって、地域の理解が深まるよう、沿線地域住民との積極的なコミュニケーションを図る役割を果たしていくため、早期に概略ルート・構造の検討を進めること。
- 1 千葉北西連絡道路の検討状況や、対象地域周辺の交通課題等を沿線地域住民へ早期に情報発信すること。
- 1 情報発信と併せ、沿線地域住民からの意見把握など、各種コミュニケーション活動を実施する際には、様々な方法を用いて広く丁寧に意見把握を行うよう努めること。
- 1 千葉北西連絡道路延伸部（印西市以南）について、引き続き検討を推進すること。
- 1 防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策の最終年度となる令和7年度においても、必要な予算・財源を確保すること。
また、令和6年度能登半島地震などを踏まえ、国土強靱化実施中期計画を早期に策定し、切れ目なく、継続的・安定的に国土強靱化の取組を進めるために必要な予算・財源を通常予算とは別枠で確保すること。
- 1 激甚化・頻発化する大規模自然災害の脅威・危機に即応するための地方整備局等の体制の充実・強化や災害対応に必要な資機材の更なる確保に取り組むこと。

- 1 道路整備・管理が長期安定的に進められるよう、新たな財源の創設等により、令和7年度道路関係予算は、賃金水準などの上昇も加味したうえで、必要な予算を満額確保すること。

令和6年7月9日

千葉東葛間広域幹線道路建設促進期成同盟会

会 長	柏市長	太田	和美
副会長	印西市市長	板倉	正直
理 事	千葉市長	神谷	俊一
理 事	船橋市長	松戸	徹
理 事	野田市長	鈴木	有
理 事	白井市長	笠井	喜久雄
監 事	八千代市長	服部	友則
監 事	我孫子市長	星野	順一郎
会 員	佐倉市長	西田	三十五
会 員	流山市市長	井崎	義治
会 員	鎌ヶ谷市長	芝田	裕美
会 員	四街道市長	鈴木	陽介

千葉東葛間の新たな広域幹線道路位置図

